

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【公開番号】特開2007-215277(P2007-215277A)

【公開日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【年通号数】公開・登録公報2007-032

【出願番号】特願2006-30348(P2006-30348)

【国際特許分類】

H 0 2 P 9/14 (2006.01)

【F I】

H 0 2 P 9/14 G

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月22日(2008.4.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の測定箇所の温度を検出する温度検出手段と、

前記温度検出手段によって検出された温度が所定値を超えた場合に、所定の変化速度で車両用発電機の発電量を抑制する発電抑制手段と、
を備えることを特徴とする車両用発電制御装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記発電抑制手段は、発電量を抑制後に前記温度検出手段によって検出された温度が前記所定値以下に低下した場合に、前記車両用発電機の発電量の抑制を停止し、所定の変化速度で発電量を増加させることを特徴とする車両用発電制御装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、

前記車両用発電機の励磁巻線に励磁電流の供給、停止を行うスイッチング素子をさらに備え、

前記発電抑制手段は、前記車両用発電機の発電電圧を設定する調整電圧設定値、前記励磁巻線に供給する励磁電流の上限を設定する励磁電流制限値、前記スイッチング素子のオンオフのデューティ比の上限を設定する励磁デューティ制限値の少なくとも一つの値を可変することにより、発電量を変化させることを特徴とする車両用発電制御装置。

【請求項 4】

請求項 1 において、

前記発電抑制手段は、発電量を抑制する速度変化量を、前記温度検出手段によって検出された温度と前記所定値との差の値に応じて設定することを特徴とする車両用発電制御装置。

【請求項 5】

請求項 4 において、

前記発電抑制手段は、発電量を抑制する速度変化量を、前記温度検出手段によって検出された温度と前記所定値との差の値に比例するように設定することを特徴とする車両用発電制御装置。